

第4回課題 延滞ペナルティについて



今回の課題は、青学の椎名さんからお題をいただきました。皆さんのところで本が返却されずに困ったことはありませんか。各館でどのようにしているか情報交換し、大学図書館のサービスについて考える材料にしたいと思います。アンケート形式です。Excelの各項目の回答欄に記入してください。

提出はL-ラーニング「大学図書館員のためのリポトリ」にアップしてください。

<http://www.l-learning.jp/xoonips/>

- 1.Excelに記入後、ファイル名を「2011課題5_〇〇大名前」として保存
- 2.リポトリの項目は下記のように登録

itemタイプ : file

タイトル : 2011研修分科会ペナルティアンケート (〇〇大・名前)

提出期限 : 10月25日 (火)

★今回もIAAL事務局で集計し、その結果を事前にメールリストでお送りします。(全員分をダウンロードする必要はありませんが、集計の都合上、提出日は厳守してください。)

当日、名札もお忘れなく！



IAAL事務局 連絡先

170-0004東京都豊島区北大塚1-19-12

TEL: 03-5961-3401 FAX: 03-5944-5087

E-mail: info@iaal.jp

IAAL緊急連絡先 (携帯番号)

090-9100-0387



日時 :

2011年11月2日 (水) 13時~17時

会場 :

神奈川大学 横浜キャンパス 1号館大会議室

●東急東横線「白楽駅」下車 徒歩13分

●横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用 (東神奈川駅西口経由)

【1 番乗場 36 系統】

菅田町/ 緑車庫行-約14分-神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

【1 番乗場 82 系統】

八反橋/ 神大寺入口行-約14分-神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

●片倉町駅前 (横浜市営地下鉄) より横浜市営バス利用

【2 番乗場 36・82 系統】

東神奈川駅西口/ 横浜駅西口行-約6分-「六角橋西町」または「神奈川大学入口」下車

アクセスマップは下記のURLを参照してください。

<http://www.kanagawa-u.ac.jp/access/yokohama/>

1号館は、正門を入れて正面の建物です。

<http://www.kanagawa-u.ac.jp/aboutus/facilities/yokohama/www.yahoo.co.jp>



2011研修分科会

第5回

私立大学図書館協会 東地区研究部 研修分科会

第3期 2011年度

<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/el-ken-b/index.html>



2011第4回

講師の中林氏はグループ討議にもご協力くださいました。

Time table



第4回 2011. 11. 2

時間	内容
13:00-14:30	講演
14:30-14:45	ティーブレイク
14:45-15:00	講演+質疑応答
15:00-16:30	グループ討議
16:30-16:50	報告大会について
16:50-17:00	事務連絡

進行について、多少時間が前後することがあります。



資料 当日の講演資料は、1週間前にPDFファイルで配布します。各自印刷して持参してください。紙では用意しませんので、忘れないよう気をつけてください。



8月の見学ツアーで訪れた東洋文庫のから、ミュージアムがいよいよ10月20日にオープンするというお知らせをいただきました。

<http://www.toyo-bunko.or.jp/tirashi/110825A4.pdf>

Themes1

講演と質疑応答

FD活動と協働できる情報リテラシー教育を考える (仮題)

講師：井上 真琴氏 (同志社大学)

大学図書館は大学の研究・教育に寄与することが本来の目的です。今回は特に大学での「教育」に焦点をあて、図書館の役割を考えてみましょう。

文部科学省中央教育審議会 大学分科会が2008年4月にまとめた「学士課程教育の構築に向けて」において、大学での初年次教育や教員のFD(ファカルティ・ディベロップメント)、職員のSD(スタッフ・ディベロップメント)についての提言がなされています。何らかの形で情報リテラシー教育に関わっている大学図書館が、最近増加している背景には、他大学でもやっているから...というだけでなく、このような大学教育についての改革が根底にあります。

図書館の中だけで考えるのではなく、大学全体の視野で、また教員との連携をふまえて、情報リテラシー教育について進めることが、学内での図書館の位置付けをアピールすることにもつながります。図書館は何をしているところか分からないと他部署からいわれがちです。図書館の役割を大学教育の中で捉えることで、図書館の専門性も浮かび上がってきます。

井上真琴氏は、図書館界で大ベストセラーになった『図書館に訊け』の著者としてご存知の方も多いと思います。一昨年度までコンソーシアム京都に、副事務局長として出向されていましたが、現在は同志社大学 企画部企画室企画課長、同志社国際学院設置準備室設置業務課長、同志社びわこリトリートセンター事務長の多くのお仕事をなさっています。お忙しい中、京都から今回のためにお越しくださいます。

Themes2

グループ討議

延滞ペナルティについて

貸出図書が期限を過ぎても返却されなくて困ることは、どこの図書館でもおこり得ます。利用者にとっては、ついうっかりなのかもしれませんが、図書館としては大学の蔵書を共有していく上で守って欲しいルールです。

延滞に対して、皆さんの図書館ではどのようなペナルティを設けているか聞きたいという声がありました。資料の貸出については目新しいテーマではありませんが、そこから大学図書館のサービスを考える切り口にしたいと考えます。事前課題で色々な考え方が浮き彫りになれば、そこから各館の皆さんの業務に参考になるものが得られるかも知れません。

分科会活動報告会について

12月15・16日に私立大学図書館協会東地区部会研究部の分科会活動報告会が行なわれます。研修分科会は研究分科会ではありませんが、下記の時間に報告を行なうことになっています。

どのような報告を行なうか、発表者だけでなくみんなで考えましょう。

12月16日 (金) 13:55-14:45 於：明治学院大学

今後の開催予定

第5回 12月8日 (木) テーマ：企画力

【課題】最終回には全員にプレゼンテーションをしていただきます。2011研修分科会で得たこと、印象に残ったことと、それをどう図書館に還元するかについて、まとめるよう心がけておいてください。